平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会参画応用(Application in Social Participation)			授業コード	A029311
担当教員名	稲川 直裕			科目ナンバリングコード	A20203
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	全学部　必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	・人間力の育成、就職に必要な科目ですので、積極的に受講して下さい。 ・本科目には「キャリア開発プログラム」クラスと「企業課題挑戦型プログラム」クラスがあります。「企業課題挑戦型」クラスは第4週より実施しますので、「企業課題挑戦型」クラス希望者も履修登録は「キャリア開発型」クラスで行って下さい。詳細は第3週の授業時にお知らせします。				
受講心得	1年次の社会参画入門、社会参画実習1に引き続いて皆さんのキャリアアップを行います。就職を徐々に意識していく大事な時期になりますので、積極的に受講し、無遅刻・無欠席を目標に頑張って下さい。 また、就職試験対策として就職基礎Drillを解いていきますので、毎回積極的に取り組んで下さい。				
教科書	就職基礎Drill(実務教育出版)				
参考文献及び指定図書					
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、社会参画実習2、就職講座、就職活動実践講座ほか				

授業の目的	「キャリア開発プログラム」 この講座では、自己分析と業界研究を通じて自分自身のキャリアデザインを考え、職業観を身につけます。「仕事をすることの面白さ」「イメージで捉えがちな業界を正しく知る」「就職基礎力」など、将来どのような職業生活を送りどのような職業人になりたいのかを正しくイメージし、将来の自分らしい働き方を考え、それを表現するスキル、就職力を身につけます。イメージだけで捉えがちな業界に対して、大手企業や地元企業など様々な視点から考察するとともに、近年大きな社会問題となっている企業倫理やCSRなどについても理解ができるようにします。
授業の概要	・就職や社会人としての心構えを演習形式で学びます。 ・就職試験対策として、第4週以降、就職基礎Drillを毎回解いていきます。 ・自己分析を行います。今後も繰り返し実施することで、より深く理解することができますので、定期的にこれまでと比較をしながら自分自身の成長を確かめます。 ・より具体的に業界研究を行い、希望する業界の現状、大企業と地域企業の違いを理解します。 ・最近よく問題視される企業倫理や企業の社会的責任(CSR活動)について考えます。 ・将来の目標に向けた計画設計など、充実した大学生活を送るための計画を立てます。 【キーワード】 人間力、キャリアデザイン、自己分析、企業研究、企業倫理、CSR、交流、就職基礎力

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 就職基礎Drillテスト ■オリエンテーション　■就職試験問題のチェックテスト	課題の復習 時事について知る(新聞を読むなど)
第 2 週 ： PROGテスト【合同授業】 ■学士力・社会人基礎力の測定(リテラシー領域、コンピテンシー領域)	時事について知る(新聞を読むなど)
第 3 週 ： 20歳の責任【合同授業】 ■インターネット利用のルール、著作権　■成人の権利と義務、責任	配付資料 時事について知る(新聞を読むなど)
第 4 週 ： 自己分析(1)	配付資料

■振り返りシートの作成　■長所シートの作成　■エピソードシートの作成 ■取材シートの作成	就職基礎Drillの復習 時事について知る（新聞を読むなど）
第 5 週 ： 自己分析（2） ■未来シートの作成　■自分の職業観を確立する	配付資料 就職基礎Drillの復習 時事について知る（新聞を読むなど）
第 6 週 ： 企業倫理 ■企業倫理とは　■企業の不祥事	配付資料 就職基礎Drillの復習 時事について知る（新聞を読むなど）
第 7 週 ： 企業の社会的責任（CSR） ■CSR活動　■社会的責務	配付資料 就職基礎Drillの復習 時事について知る（新聞を読むなど）
第 8 週 ： 業界について調べる（1） ■企業の仕組み　■業界による職種の違い　■業界の紹介、現状、展望 ■職種の仕事を理解する　■大企業と地域企業の違い　□レクチャー　□調査	配付資料 就職基礎Drillの復習 時事について知る（新聞を読むなど）
第 9 週 ： 業界について調べる（2） □グループワーク　□議論	配付資料 就職基礎Drillの復習 時事について知る（新聞を読むなど）
第10週： 業界について調べる（3） □まとめ　□発表	配付資料 就職基礎Drillの復習 時事について知る（新聞を読むなど）
第11週： 自分のキャリアをデザインする／行動計画の作成（1）【工学部】 ／PROGの活用法テスト【経営経済学部】 ■今後のキャリア計画作成　■PROGテストに基づく振り返り、行動計画作成 ■PROGテストの読み解き方・活用法	配付資料 就職基礎Drillの復習 時事について知る（新聞を読むなど）
第12週： PROGの活用法テスト【工学部】 ／自分のキャリアをデザインする／行動計画の作成（1）【経営経済学部】 ■PROGテストの読み解き方・活用法 ■今後のキャリア計画作成　■PROGテストに基づく振り返り、行動計画作成	配付資料 就職基礎Drillの復習 時事について知る（新聞を読むなど）
第13週： 自分のキャリアをデザインする／行動計画の作成（2） ■2回の授業内で行動目標についての個人面談を各自1回実施 ■就職基礎ドリルもしくはテスト	配付資料 就職基礎Drillの復習 時事について知る（新聞を読むなど）
第14週： 自分のキャリアをデザインする／行動計画の作成（3） ■2回の授業内で行動目標についての個人面談を各自1回実施 ■就職基礎ドリルもしくはテスト	配付資料 就職基礎Drillの復習 時事について知る（新聞を読むなど）
第15週： 就職ガイダンス【学部合同授業】 ■今後の就職活動に向けた準備	配付資料 時事について知る（新聞を読むなど）
第16週： 期末試験【学科】	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	

備考	・「就職基礎Drill」は第４週授業までにブックセンターで購入して下さい。 ・第４週以降で使用するワークシートは授業時に配布します。 ・担当教員によって、講義の進度・順序・内容が異なる場合があります。

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①時間管理：規定の回数以上、授業に参加できる。
【知識・理解】	①企業倫理：企業倫理・CSRとは何かがわかる。 ②就職基礎力：就職試験問題を解くことができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	①自己分析：自分のこれまでの生き方をまとめることができる。 ②表現：求められた形式で何らかの成果発表ができる。
【思考・判断・創造】	①業界研究：1つ以上の企業の特徴をまとめることができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			15点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	28点	20点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	2点	10点	5点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安

レポート・作品等 （提出物）	第4週以降の毎回の就職基礎Drill の取組結果を参考に評価します。また、レポートやワークシートの書き込み状況を参考に評価します。 [Sレベル] ・就職基礎力：就職試験問題を的確に解くことができる。 ・自己分析：自分のこれまでの生き方を客観的にまとめることができ、長所や短所を的確に表現できるとともに、昨年度からの成長過程を的確に表現できる。 ・業界研究：企業倫理・CSRを理解し、何が問題となるかを適切に表現できる。業界の違いがわかり、自分が進みたい業界・企業の特徴を表現できる。 [Aレベル] ・就職試験問題をほぼ解くことができる。 ・自分のこれまでの生き方を客観的にまとめることができ、長所や短所を的確に表現できるとともに、昨年度からの成長過程を表現できる。 ・企業倫理・CSRを理解し、何が問題となるかを表現できる。自分が進みたい業界・企業の特徴を表現できる。 [Bレベル] ・就職試験問題をある程度解くことができる。 ・自分のこれまでの生き方をまとめることができ、長所と短所を表現できる。 ・企業倫理・CSRを理解し、その内容を適切に表現できる。いくつかの業界・企業の特徴を表現できる。 [Cレベル] ・就職試験問題を解くことができる。 ・自分のこれまでの生き方をまとめることができる。 ・企業倫理・CSRとは何かがわかる。1つ以上の企業の特徴をまとめることができる。
発表・その他 （無形成果）	授業に欠席したり、遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。また、業界について調べる、企業倫理の回で行う成果発表等も評価の対象とします。 [Sレベル] ・無遅刻、無欠席で授業に参加できる。 ・求められた形式（口頭発表、パワーポイントを用いた発表など）で指定の課題（業界研究など）について適切に成果発表ができ、議論ができる。 [Aレベル] ・ほぼ無遅刻、無欠席で授業に参加できる。 ・求められた形式で指定の課題について適切に成果発表ができる。 [Bレベル] ・規定の回数以上、授業に参加できる。 ・求められた形式で指定の課題についての成果発表ができる。 [Cレベル] ・規定の回数以上、授業に参加できる。 ・求められた形式で何らかの成果発表ができる。